

資料提供

令和元年 8 月 20 日



担当課	博物館
担当者	近藤・小橋
電話	(073) 423-0003
内線	

和歌山市立博物館 夏季特別展／紀州徳川家入国 400 年記念

さいか しゅう さぎ の もりい せき 雑賀衆と鷺ノ森遺跡—紀州の戦国—

地中に眠る戦国時代・和歌山の「面白さ」伝えます！

和歌山市内の伏虎義務教育学校建設の際に調査された鷺ノ森遺跡からは、城下町以前の和歌山の様相をうかがい知ることのできる重要な遺物・遺構が見つっています。16 世紀後半から 17 世紀初頭に該当する大溝、戦国時代の寺院の様子や城下町和歌山の生活がうかがえる資料が見つかりました。特に大幅 16.9m の大溝は、雑賀衆の信仰を集めた浄土真宗の鷺森御坊、そして 1580 年からおよそ 3 年にわたって存在した鷺森本願寺（現在は本願寺鷺森別院）を防御する堀跡と考えられています。今回の展覧会では、そうした貴重な発掘成果を紹介します。

あわせて、鷺森別院の寺宝など紀伊の一向宗門徒に関する資料や、雑賀衆が紀伊国を超えて和泉・摂津・河内などで活動したことを示す資料を通して、戦国時代の和歌山の「面白さ」を伝えます。

- ・期 間 令和元年 8 月 24 日(土)～9 月 29 日(日) ※開催日数32日
- ・休 館 日 8 月 26 日(月)・9 月 2 日(月)・9 日(月)・17 日(火)・24 日(火)
- ・開 館 時 間 9 時～17 時 ※ただし入館は 16 時 30 分まで
- ・会 場 和歌山市立博物館 (市民会館・図書館となり) 2階 特別展示室
- ・主 催 和歌山市
- ・協 力 本願寺鷺森別院・(公財)和歌山市文化スポーツ振興財団埋蔵文化財センター
- ・入 館 料 大学生・一般 400円 小中高生 無料
※障害者、本市発行老人優待利用券持参の方は無料
※20 名以上団体2割引

「関西文化の日プラス」にちなみ、
9 月 7 日(土)・8 日(日)は
入館無料！

展覧会関連イベント

講演会 14 時～15 時 30 分(9/21 のみ 16 時まで)

- ・8 月 31 日(土)「雑賀衆と『石山合戦』」
武内善信氏 (元和歌山市学芸員)
- ・9 月 7 日(土)
「戦国期の鷺森御坊—鷺森にあった国宝級建築—」
西村歩氏 (歴史館いづみさの副館長)
- ・9 月 14 日(土)「雑賀と根来 南近畿の戦国社会」
仁木 宏氏 (大阪市立大学大学院教授)
- ・9 月 21 日(土)
「鷺ノ森遺跡の発掘調査成果」
井馬好英氏 ((公財)和歌山市文化スポーツ振興財団埋蔵文化財センター長)
- ・「雑賀惣国一揆の世界」小橋勇介 (当館学芸員)

展示解説 14 時～15 時

8 月 24 日(土)・9 月 1 日(日)・16 日(月)・23 日(月)

フィールドワーク

9 月 29 日 (日) 13 時～「雑賀衆ゆかりの地を歩く」
※詳細は当館 HP や市報等に掲載

ICOM Kyoto 2019 (国際博物館会議京都大会)
開催記念イベント

9 月 8 日 (日) 13 時～ 本館玄関ホール
・雑賀衆 甲冑隊参上！☆孫市の会による火縄銃実演
・黒潮躍虎太鼓保存会による和太鼓演奏

ICOM

世界 137 カ国 (地域を含む) から約 3.5 万人の博物館および博物館専門家が参加している、地球規模で博物館と博物館専門家を代表する団体。今年、京都でその団体の大会が開かれ、世界各国から博物館・文化関係者が訪れる。

まごりんも来るよ！

【展覧会の見どころ】

一 鷺森別院の寺宝—雑賀門徒の信仰

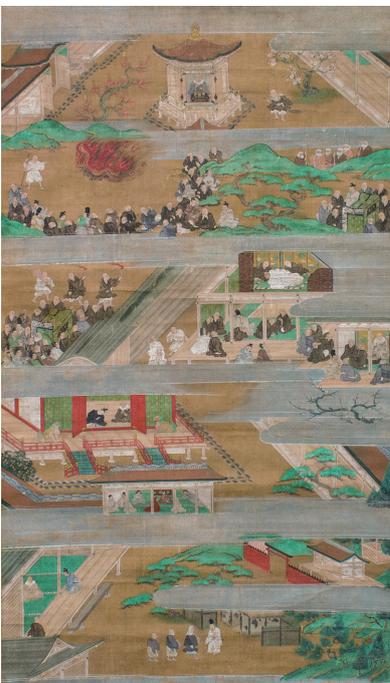
本願寺にしがたい、織田信長と戦った雑賀の一向衆門徒（雑賀衆）の信仰のよりどころとなった、鷺森御坊（鷺森別院）の宝物を紹介します。



紀州における真宗の発展を物語る資料

○二尊像（親鸞・蓮如影像）

鷺森別院所蔵



顕如が雑賀の門徒に与えた宝物

○親鸞聖人絵伝

鷺森別院所蔵

二 鷺森寺内の世界一鷺ノ森遺跡の発掘調査成果

鷺ノ森遺跡は和歌山市内の伏虎義務教育学校の建設にともなって大規模な発掘調査が行われました。この遺跡からは、鷺森御坊（鷺森別院）を防御するために掘られたとみられる幅最大 16.9m の堀跡が見つかりました。この発見により、戦国時代末期から江戸時代初期まで鷺森御坊は、約 16m の堀に囲まれた「寺内」を形成していたことが明らかになっています。和歌山城下町の発展とともに堀は埋め立てられました。堀跡からは遠国時代末期から江戸時代初期の寺院の様子分かる遺物が多数見つかります。

そのほかにも、鷺森に御坊ができる前（1562 年以前）の様子や城下町の生活ぶりが分かる資料も多数見つかり、それらも紹介します。



鷺森寺内の堀に架かっていた橋の痕跡

○橋脚

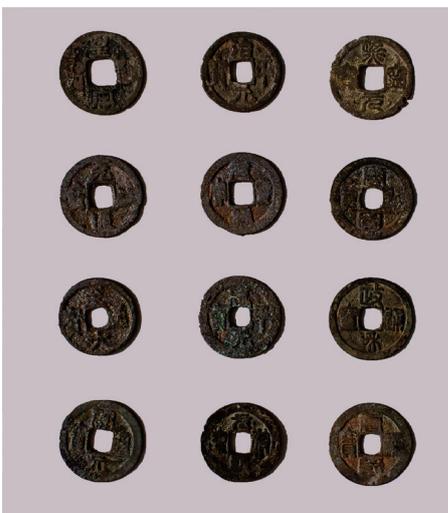


鷺森における戦いの痕跡か？

発掘された武器・武具類

○切羽（刀の部品）・鉄砲玉・

小札（鎧の部品）・刀子（左上から順に）



鷺森寺内における商取引の活発さを示す

○渡来銭（中国からの輸入銭）



鷺ノ森遺跡で見つかった国内最古級の鱧口

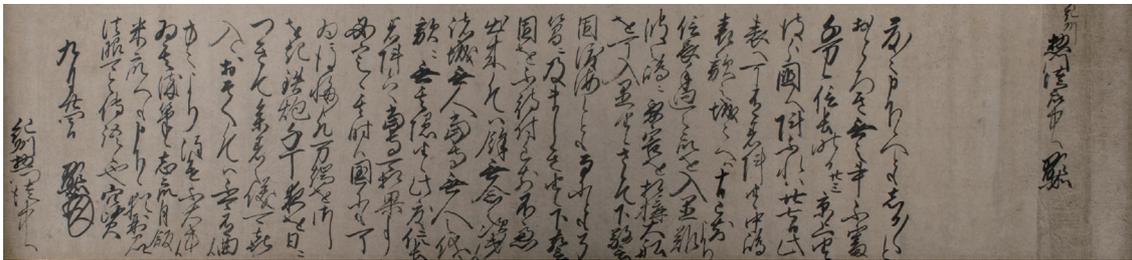
○鱧口（10世紀に相当する地層で見つかる）

三 紀州内外の雑賀衆の活躍

雑賀衆は江戸時代の講談や浮世絵、近年はテレビゲーム等の創作物により、「雑賀孫市」に代表される、鉄砲の扱いに長けた傭兵といったイメージが強いと思われます。全てがフィクションというわけではなく、鉄砲を携えた雑賀の一向衆門徒が戦国時代に本願寺があった大坂だけでなく、遠く淡路島や播磨国にも参陣したことから、上記のようなイメージが出来上がったと言えます。

また、雑賀の一向衆門徒が本拠にした和歌山平野は、有力な戦国大名が誕生しませんでした。そのため、地域内の紛争解決の仲裁や農業用水の管理主体となる組織として、古文書資料に「惣国」と表現される地侍（村の侍）の一揆集団が成立しました。彼らは、必ずしも反信長・反秀吉というわけではありませんでした。天下が統一されるまで、和歌山平野は「惣国」一揆の影響下にありました。

これら「雑賀衆」（雑賀＝和歌山平野を本拠とする武士集団）の活躍を、豊富な古文書を中心にして紹介します。



鉄砲千丁携えて大坂に参陣せよ

○顕如書状
善勝寺所蔵



雑賀で製作された機能美優れる兜

○鉄鑄地雑賀鉢兜
本館所蔵（和歌山市指定文化財）



瀬戸内の村上水軍から雑賀衆に渡された
航行許可の旗

○過所船旗
個人所蔵（国指定重要文化財）

夏季特別展／紀州徳川家入国 400 年記念

さい か しゅう さぎ の もり い せき

雑賀衆と鷺ノ森遺跡

—紀州の戦国—

The Sengoku period in Kii province

主催：和歌山市 協力：本願寺鷺森別院／(公財)和歌山市文化スポーツ振興財団埋蔵文化財センター

2019年8月24日(土)～9月29日(日)

雑賀衆に関わる遺跡から
紀州の戦国史をさぐる



ICOM Kyoto 2019 (国際博物館会議京都大会) 開催記念イベント
9月8日(日)13時～ 本館玄関ホール
・雑賀衆 甲冑隊参上!
・孫市の会による火縄銃実演
・黒潮躍虎太鼓保存会による和太鼓演奏

まごりんも来るよ!

鉄鍔地雑賀鉢兜(和歌山市指定文化財)と
火縄銃(いずれも和歌山市立博物館蔵)

鷺ノ森遺跡(戦国時代末～江戸時代初期の堀跡)

- 開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
- 休館日 8月26日(月)・9月2日(月)・9日(月)・17日(火)・24日(火)
- 入館料 一般・大学生400円、高校生以下無料
※障がい者、和歌山市老人優待利用券ご提示の方は無料
※20名以上団体割引(2割引)
- 無料開館日 9月7日(土)・8日(日)
- 展示解説 14時～15時
8月24日(土)・9月1日(日)・16日(月)・23日(月)
- フィールドワーク
9月29日(日)13時 南海和歌山市駅集合
「雑賀衆ゆかりの地を歩く」
※詳細は当館HPや市報等に掲載
- 講演会
 - ・8月31日(土)14時～15時30分
「雑賀衆と『石山合戦』」
武内善信氏(元和歌山市学芸員)
 - ・9月7日(土)14時～15時30分
「戦国期の鷺森御坊—鷺森にあった国宝級建築—」
西村歩氏(歴史館いずみさの副館長)
 - ・9月14日(土)14時～15時30分
「雑賀と根来 南近畿の戦国社会」
仁木宏氏(大阪市立大学大学院教授)
 - ・9月21日(土)14時～16時
「鷺ノ森遺跡の発掘調査成果」
井馬好英氏((公財)和歌山市文化スポーツ振興財団埋蔵文化財センター長)
 - 「雑賀惣国一揆の世界」
小橋勇介(当館学芸員)

和歌山市立博物館 Wakayama City Museum



和歌山市内の伏虎義務教育学校建設の際に調査された鷺ノ森遺跡からは、城下町以前の和歌山の様相をうかがい知ることのできる重要な遺物・遺構が見つかった。その遺跡から検出された、16世紀後半から17世紀初頭に該当する最大16.9m幅の大溝は、雑賀衆の信仰を集めた浄土真宗の鷺森御坊、そして1580年からおよそ3年にわたって存在した鷺森本願寺（現在は本願寺鷺森別院となっている）を防御する堀跡と考えられるものである。ほかにも、戦国時代の寺院の様子や、城下町和歌山の生活がうかがえる資料が見つかり、その貴重な発掘成果を市民に紹介する。

あわせて、鷺森別院の寺宝など紀伊の一向宗門徒に関する資料、さらには紀伊国を超えて和泉・摂津・河内などで活動した雑賀衆の活動が分かる資料を紹介することによって、戦国時代の和歌山の「面白さ」を広く市民に伝える。

展示構成と主な出陳資料

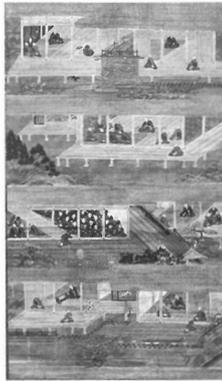
I 鷺森別院の寺宝—雑賀門徒の信仰

紀州における浄土真宗の
発展を物語る親鸞と蓮如の肖像



二尊像（鷺森別院蔵）

信長と戦う顕如が雑賀の門徒に
授与した宝物



親鸞聖人絵伝（鷺森別院蔵）

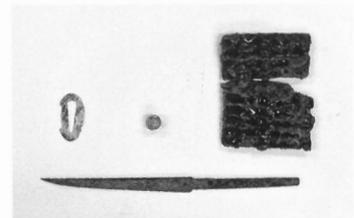
II 鷺森寺内の世界—鷺ノ森遺跡の発掘成果

鷺森御坊を囲う巨大な堀の痕跡



橋脚

堀から発見された
武器・武具



刀装具(切羽)・鉄砲玉・鎧(一部)・
小刀

III 紀州内外の雑賀衆の活躍

瀬戸内の村上水軍が
雑賀衆に出した航行許可証



過所船旗(個人蔵・国指定重文)

雑賀衆が残した古文書



林家文書・紀伊国在庁官人等解案
(本館蔵)

会期中の他館の展覧会

○和歌山県立博物館
夏休み企画展 南葵音楽文庫の至宝
～8月25日
企画展 真景図—旅する画家が見た風景—
8月31日～10月6日

○和歌山県立近代美術館
特別展 ニューヨーク・アートシーン
～9月1日
なつやすみの美術館9: 水と美術 feat. 坂井淑恵
～9月8日
時代の転換と美術「大正」とその前後
9月18日～10月20日

○わかやま歴史館・和歌山城天守閣
徳川頼宣と和歌山城
～9月29日

和歌山市立博物館
Wakayama City Museum

〒640-8222和歌山県和歌山市湊本町3-2
http://www.wakayama-city-museum.jp
TEL073-423-0003 FAX073-432-9040

